

もり りんやちよう  
**〈森林でのお仕事紹介コーナー（農林水産省林野庁）〉**

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



**【岐阜森林管理署 七宗森林事務所】**

森林官 古田 誠

七宗森林事務所は岐阜県加茂郡七宗町に所在しており、県中部にあたる飛騨川流域を管轄し、国有林野一、九一六鈔、官行造林地三三四鈔を、森林官、森林技術員、行政専門員の三名で管理しています。

管内の国有林は、スギ、ヒノキを中心とした人工林が九五%を占めており、七宗町にある七宗国有林と東白川村にある越原国有林の二団地で、木材生産、森林育成を行っています。

また、官行造林地は郡上市和良町鹿倉地区や八百津町論出地区などがあり、管理面積が少ない割に点在しているため、広域的な管理

を必要とされています。業務も多岐にわたり、各種調査から林野巡視のほか、民



トラック運材等に支障になる灌木の除去

有林と協定締結した共同施業団地での技術指導など一年を通して各種事業を行っています。

今、この地域を管理していく上で、問題になっているのはニホンジカによる森林被害です。被害の拡大を防ぐため、くくり罠を職員により設置し、地域の猟友会と連携しニホンジカの捕獲を実施しています。



署の若手職員とくくり罠を設置

特に、今年度は伐造一貫作業を実施した箇所を重点的に数十箇所のかくり罠を設置するとともに、センサーカメラを設置して生息調査も実施しています。

このほか、岐阜県環境生活部環境企画課とも連携して、シカがどのような餌を好むのか、給餌調査も実施しています。この調査でデータ収集を行うことにより、効率的な捕獲ができることが期待されています。

近年、野生動物の美食化が進んでいるとのことなので市街地への出没が増えるのが不安です。今後、調査結果によっては捕獲の取組の重要度が増していくと思えます。地道な作業ですが根気よく続けていきたいと思います。

最後に、自分が森林官になって



民有林関係者との捕獲技術検討

以降、森林技術員等が減少していき技術の継承等が喫緊の課題となっています。現場での作業同行を極力行うなどとして、少しでも国有林野事業推進のため経験を積んでいきたいと思えます。

**■未来の担い手へのメッセージ**

二〇一八年、昨年の漢字が「災」になりました。これからの林業はより防災対策が求められ、ますます多様な森づくりが重要となってきました。地域のニーズに答えられるか自問自答しつつ、地元の方々のお付き合いの中で日常業務や自分自身の成長に様々なヒントやアイデアを掴んでいます。生命と財産を守る森林の管理は大きなやりがいがあります。この森林を、皆さんともに未来に伝えましょう。



事務所玄関にて（中央が筆者）

## もり 〈森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



有限会社 愛宝産業

田上 友紀子

(二〇一七年入社)



作業現場の田上さん

### ■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業  
業（保育間伐活用型  
飛騨9ウレ山）

発注者・飛騨森林管理署

現場は六十五年生のスギ・カラマツ人工林ですが、有用広葉樹が育成している箇所は保残にも留意して間伐を行い、多様な森林へ

誘導する施業も推進しています。

また、根曲がり等で形質の悪い間伐木でも極力搬出し、需要の高まっているパルプ、バイオマス発電燃料材の生産に努め、資源の有効活用を図っています。

### ■現場での役割・魅力

現場では、二〜三人でチームを組んで作業し、スイングヤーダ、ウインチ付グラップルを使った集材作業やフォワーダの運搬作業をメインに担当しています。

無線で連絡を取りながら連携して作業を進めていきますが、うまくいかない時もあります。作業者同士で知恵をだし合い試行錯誤を重ねながら改善点を見つけていきます。効率よく作業ができて順調に終わった時の達成感はひとしお



グラップルを使って集材中

です。

チームワークがよいのも、同じ目的をもって一緒に悩んで話し合う機会が多いからなのかな、と。街から離れた、自然の中での作業環境に置かれていて、人と環境のつながりの大切さを改めて感じています。

### ■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

転職を考えていた時に林業をやっていた友人に誘われたのがきっかけです。体を動かすことが好きでしたし、前職の建設会社の作業環境と比べても、体力的に変えようとは思わず、環境を変えのりにちょうど良いかなといった感じでした。

初めて現場を見学したときにチェーンソーとクサビを使って大きな木を倒す姿を見て度肝を抜かれました。指定した方向にしっかりと伐倒する技術、地面から伝わる地震と間違えるほどの振動。何もかもが新鮮で一気に惹かれてしまいました。私でもできるだろうかという不安もありましたが、いつか自分もあんな大きな木を倒してみ

たい。そう思うようになりました。そして、そうなるように経験を積んでいきたいと思っています。

### ■未来の担い手へのメッセージ

林業では体を動かす仕事が多いですが機械を使った仕事もたくさんあります。重機の操縦やトラックの運転など体力に自信がなくてもできる仕事も多いので、性別に関係無く活躍できます。

また、基本的な日が落ちる前には作業を終え帰路に就くので残業はありません。家での時間もしっかりと作れることも、この職場の魅力の一つだと思います。私はウィンタースポーツに打ち込める時間が作れて気に入っています。



国体選考会：2月に国体出場予定



## もり 〈森林でのお仕事紹介コーナー（林業土木）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う森林土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



奥田工業 株式会社

中村 優ながむら ゆう

(二〇一七年入社)



中村優さん（測量中）

### ■事業の概要

請負工事…長通川（シカクボ

沢）復旧治山工事

発注者…木曾森林管理署南木曾

支署

本工事は、木曾川支流の長通川に合流するシカクボ沢源流より約三百以下流にある、平均河床勾配三二割、兩岸が角度四十度（四十五度と急勾配の山に囲まれた溪谷に、谷止工を施工する工事です。

当工事は、林道より六十以上も下に現場があるので、ケーブルクレーンを使用して重機を分解・搬送しました。また、作業地は、土砂崩落の危険な状態にあつたため、法面に繊維モルタル吹付を行い、安全を確保してから作業に取りかかりました。

### ■現場での役割・魅力

私は監理技術者の補佐として、日々学びながら現場の事業を進めていきました。

現場の魅力は、何もない所から協力会社の人たちと一緒に造り上げて、目に見える変化があることです。

自分一人の力では決してやり通せる仕事ではないので、たくさんの人達と協力して何かを造り上げる達成感は大いにあると思います。また四季折々の景色を楽しめるので、自然が好きな人には魅力のある仕事だと思います。

### ■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私は高校を卒業したら大学に行かないで就職しようと思つていたので、色々な資格を取れる高校に行きました。そして、特にこの仕事やりたいたと強く思える仕事が多くなかなか見つからず、就職先を探しているときに周りからすすめられたということもあり、今の職場にいます。

### ■未来の担い手へのメッセージ

土木工事に対するイメージは、

自分が就職する前もそうでしたが、力仕事できついと正直思つていました。しかし、実際現場にたつて働いてみると、見たこともない重機やハイテクな機械などたくさんあつて、昔みたいにとても大変そうな職種というイメージは無くなりました。

また、毎回同じ工事内容という訳ではないので、飽きることなく新鮮な気持ちで仕事に望めると思っています。

少しでも興味を持ってくれたら是非会社見学に来てください！



モルタル吹付の立合



出来形を確認中